

# 「確かな学力」を育む

## 1 子どもの「学ぶ力」を向上させるための滋賀プランの推進

各校園は、新学習指導要領の全面実施を見据えた取組を推進し、家庭や地域との連携を図りながら、学校教育の改善・充実の好循環を生み出すカリキュラム・マネジメントの推進を図る。

### 学校の教育力を高めるためのC(検証・評価)とA(改善)の充実

Check

検証・評価

#### 学校・園の組織力を生かした改善方策の検証

- ・全国学力・学習状況調査の児童生徒質問紙をもとに取組を検証し、課題を把握
- ・学校評価をもとに教育活動全体を検証し、課題を把握
- ・授業での子どもの学びの姿をもとにした指導方法、授業づくり等を検証し、課題を把握

#### 新学習指導要領の趣旨を踏まえた取組とするためのチェックポイント

- 全教職員が適切に役割分担し、相互に連携しながら、カリキュラム・マネジメントの取組の推進が図られていたか
- 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が行われていたか [P3参照](#)
- 社会に開かれた教育課程の実現に向け、家庭・地域との連携が図られていたか [P18参照](#)

改善

Action

#### 課題に対応したきめ細かな取組

- ・校内研究の充実とOJTの推進
- ・教科指導力の向上
- ・学習評価の改善
- ・授業とつながる家庭学習の充実



滋賀県総合教育センターHP [検索](#)

#### 質の高い、深い学びの創造

- ・基礎的・基本的な知識や技能の確実な習得
- ・子どもにとって必然性のある課題の設定
- ・ペアやグループで対話的に学び合うなど、深い学びにつなげるためのさまざまな言語活動の充実
- ・深い学びにつながる振り返りの場面の設定
- ・板書の工夫やノート指導、ICTの効果的な活用
- ・外部人材を活用した学習活動の充実

#### 組織的・計画的な教育活動の質の向上 ~カリキュラム・マネジメント~

##### カリキュラム・マネジメント3つの側面

- ① 学校教育目標を踏まえた教科横断的な視点で教育内容を組織的に配列
- ② 教育内容の質の向上に向けたPDCAサイクルの確立
- ③ 教育内容と教育活動に必要な人的・物的資源の活用

Do

教育課程の実施

教育課程の計画と編成

Plan

#### 県教育委員会の取組

- ・新学習指導要領全面実施への対応
- ・各教科等の教育課程研究協議会の実施
- ・「全国学力・学習状況調査」の実施
- ・学ぶ力向上策の検討と手立ての発信
- ・指導主事等が年間2回学校を訪問し、カリキュラム・マネジメントの実施を支援

# 「確かな学力」を育む

## 2 学びの質を高めるための授業改善の推進

基礎的・基本的な学習内容の指導の徹底を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの実現につながる授業の改善を推進する。

### 子どもたちが「わかる」「できる」喜びを実感できる授業

- ①基礎的・基本的な学習内容の指導の徹底
- ②主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

#### 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善

#### 授業の「型」から授業の「質」の向上へ

基礎的・基本的な知識・技能の定着



子どもの学びをつなぐ

▼必然性のある学習活動



#### 子どもの学びの姿からの授業の「質」の向上

子どもの学びをみとめる

子どもの学びをイメージする

#### 課題発見・解決のプロセス

課題を見つける

見通しをもつ

自分で考える

共に学び合う

学習をまとめる

学習を振り返る

新たな課題を見つける

#### ① 基礎的・基本的な力を土台とした学習活動の充実

##### 改善のポイント

- 単元を見通して、子どもに付けたい力を明確にし、学びの姿をイメージするとともに、毎授業の指導内容や時間配分、評価規準や評価方法が明確に計画できているか
- 必要に応じて、繰り返し学ぶことで基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、粘り強くやりきる姿勢や学ぶ意欲の向上を図ることができているか

#### ② 毎授業の学習活動の充実

##### 改善のポイント

- 児童生徒が自ら問いや課題を発見できるような、関心や意欲を高める教材や発問、導入であったか
- 児童生徒が、見通しをもったり、思考・判断したりする適切な時間を設定したか
- 本時のねらいの達成に向けた、児童生徒にとって必然性のある学習活動（ペア学習・グループ学習等）であったか
- 児童生徒自らが本時の課題に対する自己の変容や友達の考えのよさに気付いたり、新たな課題が見つかったりするように、振り返りの視点を設定したか

#### 主体的な学び

課題意識と見通しをもって粘り強く取り組み、自らの学習を振り返って次につなげる

#### 対話的な学び

他の人との協働や対話、本や資料との対話を通して、自己の考えを広げ深める

#### 深い学び

習得・活用・探究のプロセスを通して、各教科等の「見方・考え方」を働かせ、より深く理解したり、創造したりすること

#### 深い学びを実現する授業づくり

- ① 単元(本時)で付けたい力を明確にする
- ② 深い学びが成立した子どもの姿を考える
- ③ 深い学びにつながる言語活動を考える
- ④ 深い学びにつながる導入を工夫する

## 子どもたちが安心して学べる学級づくり

### 県教育委員会の取組

- ・「学びの基礎チャレンジ」と「学び直しプリント」の実施
- ・教科指導力向上と研修の実施
- ・小学校専科による学力向上推進
- ・幼児教育と小学校教育の接続の普及
- ・学校と家庭・地域が一体となった子どもの生活・学習習慣の向上
- ・中学校授業改善加配(コアティーチャー)の派遣

# 「確かな学力」を育む

## 3 遊びの中の学びを通した幼児教育における指導の充実

「幼児教育において育みたい資質・能力」は、遊びを通しての総合的な指導の中で一体的に育み、小学校以降の学びにつなげていきます。

### 幼児教育において育みたい資質・能力



- ①「知識・技能の基礎」 …… 遊びや生活の中で、豊かな体験を通じて、何を感じたり、何に気付いたり、何が分かったり、何ができるようになるのか
- ②「思考力・判断力・表現力等の基礎」 …… 遊びや生活の中で、気付いたこと、できるようになったことなどを使いながら、どう試したり、工夫したりするか
- ③「学びに向かう力・人間性等」 …… 心情、意欲、態度が育つ中で、いかによりよい生活を営むか

領域

健康

人間関係

環境

言葉

表現

### 学びに向かう力を育む視点からの保育改善

#### 遊びを通した学びの過程（5歳児後半）

#### 遊びの創出

遊具・素材・用具や場の選択・準備  
友だちとの出会い 等

#### 遊びへの没頭

楽しさや面白さの追究 試行錯誤  
工夫 協力 失敗や葛藤 問題の解決  
折り合い 挑戦 等

#### 遊びの振り返り

振り返り 明日への見通し

次の遊びの創出へ

### 幼児教育での主体的・対話的で深い学び

#### 主体的な学び

- 周囲の環境に興味や関心をもって積極的に働きかける
- 見通しをもって粘り強く取り組む
- 自らの遊びを振り返って次の遊びにつなげる

#### 対話的な学び

- ものと向き合い、ものへの理解を深める
- 他者との関わりを深める中で自分の思いや考えを表現する
- 友達と伝え合ったり、考えを出し合ったり、協力したりして自らの考えを広げ深める

#### 深い学び

- 直接的・具体的な体験の中で、見方・考え方を働かせて対象と関わって心を動かす
- 幼児なりのやり方やペースで試行錯誤を繰り返し、生活を意味あるものとして捉える
- 美しさや不思議さ等の追求や問題解決に向けて探求的に学ぶ

### 「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」

5領域（健康・人間関係・環境・言葉・表現）のねらい及び内容に基づく活動全体を通して資質・能力が育まれている幼児の幼稚園等修了時の具体的な姿



健康な心と体

自立心

協同性

道徳性・規範意識の芽生え

社会生活との関わり

思考力の芽生え

自然との関わり・生命尊重

数量・図形、文字等への関心・感覚

言葉による伝え合い

豊かな感性と表現

3歳児、4歳児では、それぞれの時期の発達に応じた指導の積み重ねが、こうした姿につながっていく「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を小学校と共有することにより、幼小接続を推進する

### 幼児教育と小学校教育の円滑な接続

〔幼児教育〕  
〔小学校教育〕

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を念頭においた保育・教育の充実  
「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を踏まえた指導の工夫



# 「確かな学力」を育む

## 4 新学習指導要領を見据えた外国語教育の推進

小・中・高等学校の各段階で身に付けさせたい力を明確にし、児童生徒が主体的に取り組む言語活動を中心に授業を展開します。また、校種間での連携をいっそう深め、小・中・高等学校等による系統的な外国語教育を推進します。

### 外国語教育の目標：コミュニケーションを図る資質・能力の育成

小・中・高等学校等の系統的な外国語教育

- 高等学校**
- ①言語の働きや役割などの理解  
実際のコミュニケーションで活用できる技能
  - ②情報や考えなどの概要・詳細・意図的確な理解  
理解したことを活用して適切に表現したり伝え合ったりする力
  - ③外国語の背景にある文化の多様性の尊重、他者への配慮  
自律的・主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度



#### 世界とのつながり

発表、討論・討議、交渉等、発信力の強化に向けた言語活動の高度化

高度化される中学校の学習内容の把握と接続

- 中学校**
- ①音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解  
実際のコミュニケーションで活用できる技能
  - ②日常的・社会的な話題における簡単な情報や考えなどの理解  
理解したことを活用して表現したり伝え合ったりする力
  - ③外国語の背景にある文化に対する理解、他者への配慮  
主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度



複数領域の統合的な言語活動の充実と、即興でのやり取りを意識した言語活動の重視

新設される小学校英語における学習内容の把握と接続

- 小学校英語**
- ①音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどの理解  
実際のコミュニケーションで活用できる基礎的な技能
  - ②語彙や基本的な表現を推測して読む力、語順を意識して書く力  
自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力
  - ③外国語の背景にある文化に対する理解、他者への配慮  
主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度



「聞くこと・話すこと」の言語活動の充実と、「読むこと・書くこと」による文字指導の導入

学級担任の専門性の向上と教員研修や校内研修の充実

- 外国語活動**
- ①言語や文化についての体験的な理解  
音声や基本的な表現への慣れ親しみ
  - ②身近で簡単な事柄について聞いたり話したりする体験  
自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地
  - ③言語やその背景にある文化に対する理解、他者への配慮  
主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度



他者と英語でやり取りすることの体験と、音声や基本的な表現への慣れ親しみ

#### 仲間とのつながり

#### 目標 【目標の明確化】

- ①知識及び技能  
○音声や語彙、表現、文法、言語の働き等を理解し、実際のコミュニケーションにおいて活用する
- ②思考力・判断力・表現力等  
○コミュニケーションの目的や場面、状況等を意識し、理解したことを表現したり伝え合ったりする
- ③学びに向かう力  
○外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮してコミュニケーションを図る

#### 指導 【言語活動の充実】

- 5領域の技能を総合的に育成する言語活動を重視**
- 児童生徒が英語を使う言語活動
  - 実際のコミュニケーションで知識・技能を活用
  - 思考・判断・表現を繰り返すことで知識を深化
- 必然性のあるコミュニケーションを行う言語活動を設定**
- 言語活動におけるコミュニケーションの目的や場面、状況等の明確化
  - 聞きたいことや伝えたいことがある対話的な言語活動の設定

#### 評価 【目標と指導と評価の一致】

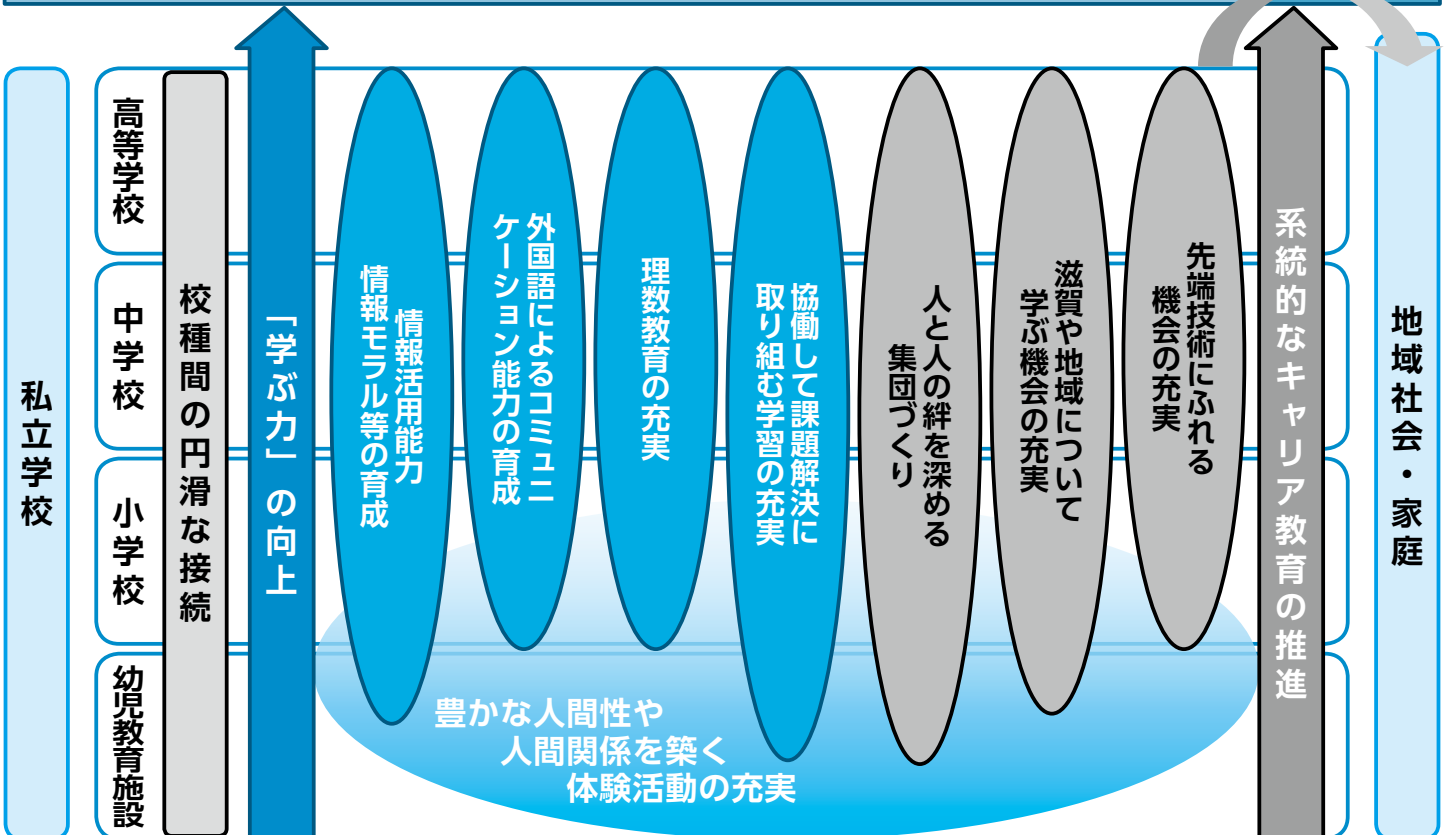
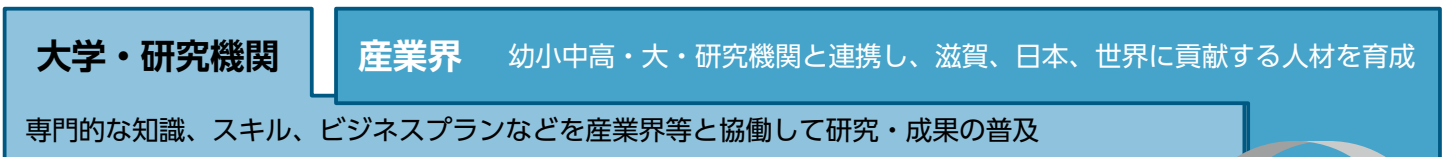
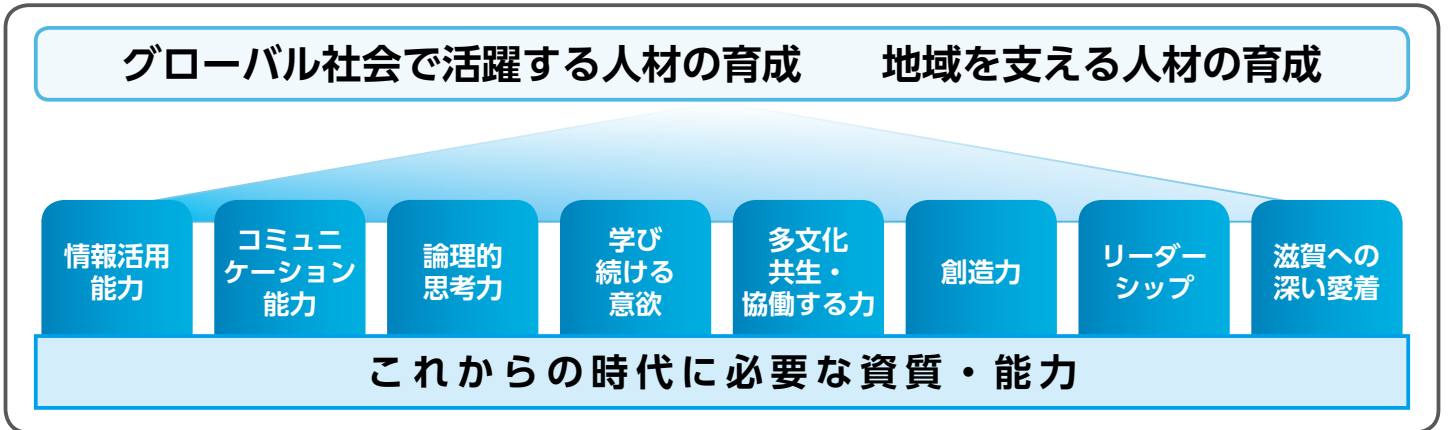
- 児童生徒が主体的に活動する授業を通してパフォーマンス評価を実施
- 「何ができるようになるか」を児童生徒に対して明確に提示
- 「CAN-DOリスト」により小・中・高等学校の一貫した目標を設定**
- 各校での具体的な到達目標の設定
  - 各校の「CAN-DOリスト」と「単元の目標や評価」さらには滋賀県モデル「CAN-DOリスト」との関連付け
  - 地域における小・中学校の学習到達目標を共有し、児童生徒の学びの接続や指導改善への取組を充実

授業改善の視点

# 「確かな学力」を育む

## 5 新しい時代を切り拓く力の育成

変化の激しい社会を考えた時、これからの滋賀の教育では、「新しい時代を切り拓く力」を身に付け、グローバル社会・情報社会で活躍する人材や地域を支える人材の育成を図るため、必要となる資質・能力を育む取組をすすめる。



教職員の教育力の向上

**地域資源を活用した教育の推進**

# 「豊かな心」を育む

## 1 話し合いと実践から生まれる学級経営の充実

児童生徒の話し合い活動による自立的・自治的な実践的活動を進め、全ての子どもにとって居心地のよい学級・学校づくりを推進する。

### ～先人の「近江の心」を未来につなぎます～

中江藤樹先生	「致良知」	一人ひとりのもっている美しい心
糸賀一雄先生	「この子らを世の光に」	一人ひとりを大切にする心
雨森芳洲先生	「たがいに誠をもって交わろう」	ちがいを認め、たがいを大切にする心
近江商人	「三方よし」	人や社会を大切にする心
近江の人	「自然を大切に」	自然や環境を大切にする心

#### 体験活動

##### 感動・本物・仲間の実感

豊かな人間性や人間関係を築く力を培う

- ・人と人との絆を深め、感性を養う体験活動の意図的、計画的な実施



森林体験学習

- ・異年齢集団活動による交流の充実
- ・事前・事後活動を含めた体験プログラムの充実
- ・文化芸術活動の推進

#### 確かな規範意識の育成

##### ルールを仲間と共有

規範意識を醸成することで、自己存在感や自己有用感を高める

- ・子どもが自主的、主体的に判断、行動し積極的に自己を生かす活動
- ・児童会・生徒会活動の活性化によるいじめの未然防止の取組

#### 道徳教育

##### 「近江の心」の継承 地域への愛着と貢献

滋賀の地域資源を活用した特色ある教育の推進

##### 道徳の内容

主として集団や社会との関わりに関すること

よりよい学校生活、集団生活の充実

(我が国の) 伝統と文化の尊重、国や郷土を愛する態度等

- ・地域の特色を生かした魅力的な道徳教育の推進 (地域教材やゲストティーチャー等の活用)
- ・学校と家庭や地域が共に取り組む体制や実践活動の充実

#### 好ましい人間関係づくり

##### 信頼に基づく豊かな人間関係の育成

人と人との絆を深める

- ・生活上の諸問題の解決に向けて、意見の違いや多様な意見のよさを生かしつつ集団として合意形成する学級活動の充実
- ・教科指導等でのグループ学習による「学び合い」の推進
- ・多様性を認め合い、共感的な人間関係を育む取組の推進



中学校の学級活動

### 幼児教育 ～豊かな人間性の芽生えを培う～

遊びから生まれる総合的な学び

ごっこ遊び

運動遊び

砂遊び

製作遊び

生き物に触れるなど



# 「豊かな心」を育む

## 2 「考え、議論する」 道徳科の推進

カリキュラム・マネジメントの観点からの道徳教育全体計画及び別葉、道徳科の年間指導計画の作成、質の高い多様な指導方法や評価の在り方の研究等、校長のリーダーシップのもと、道徳教育推進教師を中心とした組織的な取組を推進します。

### 学校の教育活動全体で行う道徳教育の推進

道徳教育全体計画作成  
(具体的な計画は別葉で示す)

- ・学校の重点内容項目を明確にする
- ・各教科等の具体的な指導時期・内容を別葉に明記

### 道徳教育の「要」としての道徳科

#### 道徳科の目標

よりよく生きるための基盤となる**道徳性を養う**ため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、**自己(人間として)の生き方についての考えを深める学習**を通して、**道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度**を育てる

#### 道徳科の年間指導計画

採択された教科書の教材を、学校行事や教科等の学習との関連を考慮しながら配列する。

あくまでも教科書が主たる教材であるが、郷土の先人等を取り上げた地域教材等も有効に活用する。



【小学校編】



【中学校編】

#### 考えを深める授業

- 問題意識をもたせる
  - ・導入や発問の設定を工夫する
- 子どもから出た意見をもとに深める
  - ・ねらいに迫る発言を全体へ広げる
  - ・考えを比較・分類する
- ねらいに迫る発問・活動を工夫する

- ・繰り返し発問
- ・意図的指名
- ・キーワード
- ・話し合い
- ・座席配置
- ・板書の工夫
- ・ワークシートの活用 等



【グループで話し合い】



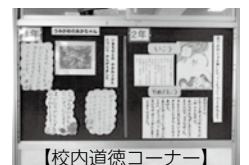
【思考ツールで意見交流】

#### 道徳科の評価

##### 児童・生徒の学習状況及び成長の様子についての評価

- ・一面的な見方から多面的な見方へと発展させているか  
(例) 自分と違う意見や立場を理解しようとしている
- ・道徳的価値の理解を自分との関わりの中で深めているか  
(例) 自らの生活や考えを見直そうとしている

- 学習を振り返る環境整備  
校内道徳コーナーの設置  
(教室や廊下等に、学習内容を想起できる場面絵や感想等の資料を掲示)



【校内道徳コーナー】

- 年間や学期といった一定の期間の中で評価
  - ・成果が顕著であった時間について(～でした)
  - (発言、行動、記述、子どもの自己評価等から)
  - ・成長の様子を見取って(～なりました)

##### 授業に対する評価

学習指導過程に対する評価を実施し、授業改善に努める

- 評価の観点例
  - ・発問設定は適切であったか
  - ・子どもが考える時間は十分であったか
  - ・特別に配慮を要する子どもに適切に対応していたか など

# 「豊かな心」を育む

## 3 互いの人権を尊重する心や態度の育成

全ての教育活動の根幹に人権尊重の精神を位置づけ、人権の意義や人権課題について正しく理解し、自分も他者も大切にする実践的態度を培う人権教育を推進します。



### ひと 自分も他者も大切にする子ども

#### 人権についての正しい理解と認識を深める学びの充実

- 差別の不合理性について認識を深め、人権獲得の歴史と生きざまに学ぶ人権学習を充実させる
- 参加・協力・体験的な学習を通して、実践的態度を育成する



「気づき つながり 行動する 人権・部落問題学習」教材集の活用



「性の多様性を考える」リーフレットの活用

#### 子どもの感性や人権感覚を育む 人権教育の深化

- 自尊感情を高め、豊かな感性や人権感覚を育む取組を進める
- 人や社会との関わりを通して、多様性が認められ、互いに高め合う集団づくりを進める



「自尊感情を育む」リーフレットの活用



「いじめや差別を許さない学校づくり」リーフレットの活用

### 教職員の人権感覚・指導力の向上

- 日常的に人権感覚を磨き合う
- 教職員研修を通して学びを深める

#### 人権を尊重する生き方のロールモデルとなる教職員

- ・一人ひとりを尊重する教職員の姿 (子どもを見るまなざし、声のかけ方、気持ちの受け止め方)
- ・自身が受け入れられていると感じられる物的・人的環境の整備

### 子どもの自己実現を図るための連携の強化

- 困難な状況にある子どもの生活と学ぶ意欲を支える取組を進める
- 課題や取組の方向性を学校・園・所、関係機関、家庭、地域社会で共有し、支援体制の充実を図る